

【学校教育目標】

真心・汗・花いっぱい
～励む、伸びる、磨く児童の育成

諫早市立森山東小学校 学校だより No. 5



花だより

令和8年5月18日 校長 陣内 亮吉

合言葉「レッツ チャレンジ」



令和8年度貞恵翁祭

5月8日(金)令和8年度の貞恵翁祭がありました。当日は、土橋貞恵翁御遺族様始め、諫早市長様(代理)、諫早教育長様(代理)、森山西小学校の5・6年生、森山中学校の2年生、町内の自治会長様、森山支所関係者様等。たくさんのお客様を招いての盛大な祭となりました。

私は、初めての参加でしたが、実行委員長として参加いたしました。貞恵翁祭は、諫早市ではとても有名で由緒ある祭でしたので、森山町に勤務経験のない私もその内容を伺っていました。しかし、想像をはるかに超える盛大さでした。ふるさとにこんなにもすばらしい方がいたことは本当に誇らしいことだと思います。また、今回160回目という節目の回でしたが、伝統の持つ重さと貴重さを体験させていただきました。

5年生の発表についても、来賓の方々から口々にお褒めの言葉をたくさんいただきました。また、低・中学年にとっては、少し難しい貞恵翁祭でしたが、立派な参加態度で子供たちの活躍を誇らしく感じました。

花だより

5/16白木峰のバラ園→



今週末は運動会

いよいよ今週末は、運動会です。運動会には、

- 1 体を動かす楽しさを知り、心身の健全育成(努力や忍耐力も養います)
- 2 社会性と協調性の習得(協力や責任感、ルールを守る大切さを育みます)
- 3 地域やコミュニティの結束(家族や地域の大人が交流することで地域社会のつながりが生まれます)

このような目的があります。運動会の目的はずっと以前から不易的ですが、少子化やコロナ禍等の影響を受け、その内容は、様々な面で変化してきています。子どもたちの成長と活躍をぜひ御覧ください。

とはいえ、校長として、まずは、当日の天候が気になってしょうがない日々が続いています。

校長の独り言

運動会と言えば、、私が小学生として経験した運動会は、約半世紀(50年)前になります(笑)。私の小学校は全校1,200人の超大規模校でした。当時の運動会は、表現といえばフォークダンス、女の子と手をつなぐチャンスの時間でした。曲に合わせて手をつなぐ相手が変わっていくのですが、好きな女の子の一つ手前で曲が終わり残念だった思い出が浮かんできました。当時は(も)恥ずかしがりやだったので、仮に回ってきても手に触れるのが精一杯でしたけど(汗)。